



希望の鐘 The Bell of Hope

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 27-12

6 月号

発行 2025 年6月24 日

Chartered 1998

会 長 利根川 太郎 クラブ会長主題 「原点に戻って、川越 YMCA を支えよう。」
 副会長 松川 厚子 国際会長: A. Shanavaskhan シャナヴァスカーン(インド)
 会 計 吉田 公代 主題 Together for better world より良い世界のために、共に
 書 記 吉野 勝三郎 スローガン Arise and Shine 日本語訳: 立ち上がろう、そして輝こう
 アジア太平洋地域会長 ジョーン・ウォン (香港) 主題 大きなインパクトを起こそう
 東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題 ワイズの方向性を見極める
 関東東部部長 山本 剛史郎 (川越) 主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない!

6 月の聖句

ヨハネによる福音書 3:16

神はそのひとり子を賜ったほどに、世を愛して下さった。それは、御子(みこ)を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

For God loved the world so much that he gave his only Son, so that everyone who believes in him may not die but live eternal life.

(John 13:16)

5 月統計(5 月 10・17・24 日)

出席者 10 名 出席率 100%

川越クラブ 5 月例会報告

会長 利根川太郎

5 月になり朝夕は過ごしやすく、梅雨の走りのような雨天の日もあって、季節の移り変わりを感じる日も多くなってきました。しかし初夏というより盛夏の暑さを感じさせる日も多くあり、熱中症には注意が必要な日もあります。体調を崩しやすい季節ですが川越クラブのメンバーは皆さん元気に例会に出席されました。例会の前に、懸案であった古本の整理を行いました。久しぶりに昼食会を行った後なので皆さん元気で、3 階から 1 階への本の荷下ろしも和気藹々と片付けることができました。お疲れ様でした。

例会では、ボビー・オグワンさんに、「Discovering the Pearl of Africa」と題して、ウガンダについて卓話を頂きました。内容は別稿で山本さんからご報告いただきます。

では、5 月の例会の概要をご報告いたします。

1. ハイデラバードクラブの来日が迫って参りました。

訪問団はインド舞踊についての紹介に熱心で、川越でもインド舞踊についてのレクチャーとダンスのビデオ披露の申し出がありました。そこで、川越クラブでは 6 月 9 日(月)に川越 YMCA を会場にして、インド舞踊とベジタリアンの夕べとして、インド舞踊の紹介、ベジタリアンメニューによる晩餐会を開催することにいたしました。興味のある方はご参加ください。

2. 6 月 7 日(土)の東日本区大会には、川越クラブとその家族から 6 名が参加します。イモ松葉、イモ煎餅、イモ納糖、コーヒーのチャリティ販売を行います。

また、ハイデラバードクラブと川越クラブの IBC 締結式が 15:15 に執り行われます。さらに、ハイデラバードクラブは 19:20 から晩餐会においてインド舞踊を披露します。インド舞踊は伝統的なもので、素晴らしいダンサーの皆さんが来日しますので見応えがあると思います。

5. 8 月 1 日(金)~3 日(日)のアジア太平洋地域熊本大会には、今のところ川越クラブとその家族が 7 名参加予定です。

6. 今後の予定について

・6 月 28 日(土) 次年度予算案 川越クラブ会則検討 次期活動案

・7 月 26 日(土) 決算・会計報告

・8 月 23 日(土) お芋試食会(予定)

以上、主な内容を報告いたします。次回例会は 6 月 28 日(土)14:00 川越 YMCA です。





川越クラブはこの他にも、IBC締結賞、環境プログラム事業賞・環境キャンペーン優秀賞、ユース事業YIA推進賞、ノンドロップ賞、CS献金、AFS献金、FF献金、BF献金、TOF献金、RBM献金、YES献金、ユース活動支援献金それぞれの達成賞とグラندスラム(全献金達成)賞をいただきました。

表彰式の後、IBC・DBC締結式が執り行われました。川越ワイズメンズクラブとインド・ハイデラバードクラブとのIBC締結式につきましては、別記事にてご報告をいたします。

理事役員引継ぎ式の後、立川春の輔師匠の記念落語会が開催されました。「笑点」抜擢の裏話など、さすがの話術で笑わせ、1時間があっという間でした。

閉会式の後、休憩を挟んで晩餐会が大ホールにて開催されました。晩餐会ではハイデラバードクラブのVemaraju Vijaya Kumarさんからクラブ紹介をいただき、Nisthala Sudha Mala会長のインド舞踊解説を交えて、神話を題材にした舞踊が披露されました。多くの皆様が舞台前に来て、ビデオ撮影や写真撮影をして楽しんでいただきました。歴史ある物語とゴージャスな衣装、荘厳で華麗な舞に大好評を頂きました。

東日本区大会の概要を簡単に報告させていただきました。とてもホスピタリティに溢れた、熱気ある大会でした。ホストいただきました大久保実行委員長をはじめ宇都宮クラブの皆様、ご関係の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



第28回東日本区大会 宇都宮大会報告

会長 利根川太郎

関東甲信越地方が梅雨入り間近の6月7日(土)から8日(日)にかけて、「第28回東日本区大会 宇都宮大会」がライトキューブ宇都宮をメイン会場にして開催されました。

川越ワイズメンズクラブからは、新井賢二・壽代夫妻、山崎純子さん、山本剛史郎さん、利根川太郎・恵子が参加しました。

開会前日の6月6日(金)には、メイン会場の隣「ウツノミヤテラス バリシープ」において前夜祭が催されました。アジア太平洋地区会長 Joan Wong さんをお迎えして、大勢のワイズメンが集う賑やかな前夜祭となりました。

大会は、午前中に年次代議員会、メネットアワー、担当主事会、ユースの集いが並行して行われました。メネットアワーでは、川越クラブとのIBC締結のために参加したインド・ハイデラバードクラブのメンバーによる「インド舞踊」のレクチャーが行われ、好評を博しました。この大会に先立ち名古屋で公演を行った際のビデオを見ながら、ハイデラバードクラブ会長のNisthala Sudha Malaさんから詳細な説明がありました。Nisthala Sudha Malaさんは多くの舞踏家を育てている、日本で言えば名取のような方です。

正午前に受付が行われ、入場が開始されました。川越クラブは、会場前ホワイエにて、いも菓子とタイ・アカ族のコーヒーをフاندレイジングとして販売しました。山崎さんが担当して、多くの協力を頂くことができました。

大会は、フィンランディア(合唱付き)の歓迎演奏に引き続いてバナー入場、開会式、メモリアルアワー、理事年次報告、ユースアクション報告、代議員会報告とつづき、表彰が行われました。

川越クラブは、ブリテン最優秀賞を受賞し、昨年度の最優秀クラブ受賞に続いて2年連続での最優秀賞に輝きました。受賞理由は、ブリテンの内容に加えて毎号の英語版を発出していることが挙げられました。英語翻訳の労を執ってくれた生川さんに感謝したいと思います。さらに、2年続けての受賞は、ひとえに皆様方のお支えがあったからに他なりません。この紙面を借りまして、川越クラブを応援していただいている皆様に厚くお礼申し上げます。



川越クラブとハイデラバードクラブのIBC締結式 報告

会長 利根川太郎

2025年6月7日に川越ワイズメンズクラブとインド Hyderabad (ハイデラバード) ワイズメンズクラブがIBC (International Brother Club) を結び、「第28回東日本区大会 宇都宮大会」におきましてIBC締結式を執り行うことができました。

東日本区大会の大勢の参加者に見守られてIBC締結式が滞りなく実施できましたのは、大久保大会実行委員長をはじめ宇都宮クラブの皆様、関係の皆様のおかげです。ここに感謝申し上げます。

川越クラブからは山崎純子さん、山本剛史郎さん、新井賢二・壽代ご夫妻、利根川太郎・恵子が参加し、Hyderabad Clubからは、Nisthala Sudha Malaさん、Vemaraju Vijaya Kumar・Vemaraju Rama Devi ご夫妻、Koosam Chakrapaniさん、Nisthala Sai Krishna Swethaさん、Madhavimala Buddhavarapuさん、Bangalore Sreekantham Mekhalaさん、Reni Sreejithさんの8名が参加されました。

アジア太平洋地域会長 Joan Wongさん、東日本区理事山田公平さん立ち会いの下、川越クラブ会長利根川太郎とHyderabad Club会長Nisthala Sudha MalaがIBC締結書にサインをいたしました。



ハイデラバードクラブ歓迎会 報告

会長 利根川太郎

東日本区大会 宇都宮大会のプログラムがすべて



終了した翌日6月9日(月)に、ハイデラバードクラブのVemaraju Vijaya Kumar・Vemaraju Rama Devi ご夫妻、Koosam Chakrapaniさんをお迎えして、川越観光と歓迎会を催しました。

川越観光では定番ですが、時の鐘と菓子屋横丁を散策

しました。川越には以前もお越し頂いていますが、懐かしいと喜んでいただき、ちょうど3時の梵鐘も聞いて、和気藹々とした楽しいひとときを過ごすことができました。「陶舗やまわ」が私の同級生でもあり、お

店とトロッコ跡などを見学したり、私が卒園した幼稚園と隣接する長喜院などを見て回ったり、個人的なことも含めて親交を深めました。

川越観光の後、川越YMC Aをお借りして、名古屋でのインド舞踊のビデオを見て、インド料理店「カマナ」からテイクアウトしたベジタリアン料理とインド料理で歓迎会と懇談会を催しました。川越クラブからは吉田さん、吉野さん、山本さん、新井さん、河合さん、利根川太郎と恵子が参加しました。Koosam Chakrapani さんが日本語研修で来日した際にホームステイをして、その時以来お付き合いのあるご友人の滑川光裕さんも参加してくださいました。滑川さんは嘉悦大学経営経済学部教授でインドをはじめ世界各地での学会に参加されていて、話題が盛り上がりしました。

今後の交流については、文化交流、語学系(日本語学習)の交流やサポート、I I T(インド工科大学)との関係などが話題となりました。また、YMC Aとの協働によるユースのためのワークキャンプを、ハイデラバードとの協力でできないかとの提案も、山本国際・交流主任からありました。

Vemaraju Vijaya Kumar さんからは、ぜひハイデラバードへ訪問してほしいとお誘いがありました。機会があれば、相互訪問も検討していければと思います。

ハイデラバードクラブの皆さんは、彦根クラブから始まり、名古屋での公演、沼津クラブ、宇都宮大会と長い日本滞在でお疲れのことと思いますが、インド舞踊のご披露など多くのワイズメンの心に残った日本訪問であったと感じています。今後は、お互いの強みを生かしながら、有意義な交流・プログラムができるように努めてまいります。



「モネの

展覧会を訪れて」(随想)

生川 美樹

先日、モネの展覧会を訪れました。私も、あの淡いグラデーションで描かれたモネの絵が好きです。彼の作品を眺めていると、優しく穏やかな気持ちになります。そして、彼が晩年に白内障を患い、視力が低下しながらも絵を描き続けたことを知り、深く感動しました。モネは、光と色彩を巧みに表現する画家でした。しかし、視力が衰えるにつれ、彼の世界はぼやけ、色の見え方も変わっていきました。それでも、彼は絵を手放すことなく、新たな視点で作品を生み出し続けました。晩年の作品には、輪郭の柔らかさと、より鮮やかな色彩が表れています。これは、彼の目に映る世界ではなく、心で感じた世界だったのかもしれない。モネの姿勢は、「困難に直面しても創造を諦めないこと」の大切さを教えてくれます。人生をかけて描き続けた彼は、視力を失ってもなお、美しい世界を描き続けました。その生き方と芸術は、私たちに「本当に大切なものは何か」を問いかけているように感じます。それは、年を重ねるにつれ、ますます仕事やボランティア活動、趣味に情熱を注がれている川越ワイズの先輩方の姿と重なるように思えます。私も、そんなふうになりたいと思いました。



(編集子) 次月は山本剛史郎さんの寄稿に期待します。

●国際の舞台から

➤ “Keiko” s Monthly Briefing of YMI/ASP”

利根川恵子

国際会長がローマ教皇に面会

去る6月11日、新しいクラブのチャーターでローマを訪問していたシャナヴァスカーン国際会長とジョース国際書



記長が、バチカンでローマ法王レオ 14 世と面会しました。ワイズメンズクラブ国際協会がグローバルな奉仕団体であることをアピールし、その存在を広く世界に知らせる絶好の機会となりました。

2024-2025 年度には、初めてワイズメンズクラブがチャーターされた国が 4 カ国(オーストリア、ボツアナ、レソト、ルワンダ)、途絶えていたクラブが復活した国が 6 カ国(イスラエル、イタリア、ニュージーランド、ポルトガル、スイス、トーゴ)あり、世界の 84 カ国にワイズの仲間が広がっています。



●YMCA 報告

●【たんぼぼ6月活動】

例年6月の梅雨の時期には、野外の活動は雨が降っても活動可能な場所を選びます。今回6月のたんぼぼグループでは、東松山市にある「化石と自然の体験館」へ行ってきました。この地域は、1500 万年前は海だったそうで、産業団地を造る際に、サメの歯などの化石などを多くでてきたため、屋内でできる「化石発掘体験館」を作ったそうです。2016 年の開所以来、想像以上に好評を得ているということで、土日祝日や長期休暇などは予約は取りにくいということでした。今回、YMCA が事前予約したときも受付時間から1分で「満員」になってしまいました。



動画で説明を聞いた後は、各々ふるいを使って発掘体験をしたり、ハンマーを使って岩割をして発掘体験を楽しみました。

残念ながら1割のメンバーは化石が見つかりませんでしたが、お土産の化石をもらうことができました。

- 【8月11日(月)・祝 10時～15時15分 首都圏外郭放水路見学ツアーに参加しませんか?】
最近、くり返し都市部をおそっているゲリラ豪雨。都市の水害から人々の暮らしを守るために、地下深くに作られた巨大な施設「首都圏外郭放水路（春日部市）」を見学します。13年かけて作られた地下50メートル、長さ6.3キロメートルにおよぶ世界最大級の地下放水路です。川越からYMCA バスで移動します。ぜひ一緒に参加しませんか。



●(編集後記)

皆さんの協力で作成している川越クラブのブリテン「希望の鐘」が、第28回東日本区大会で「ブリテン最優秀賞」に選ばれました。特に、毎月英語版を発行している点が評価されています。生川美樹ワイズと利根川恵子ワイズの努力に敬意を表します。編集を担当させてもらっている者としてこんな名誉なことと喜びはありません。

それにしても、なぜ人類は平和に生きていくことができないのでしょうか。誰もが、平和を願いつつも、人が人を殺害する事態を知り愕然とします。国連の努力もなかなか効果が上がりません。せ我が家には、所沢クラブが進めている、“平和カレンダー”が貼ってあります。どんな小さな活動も価値ある活動です。Something is better than nothing! (KY)